

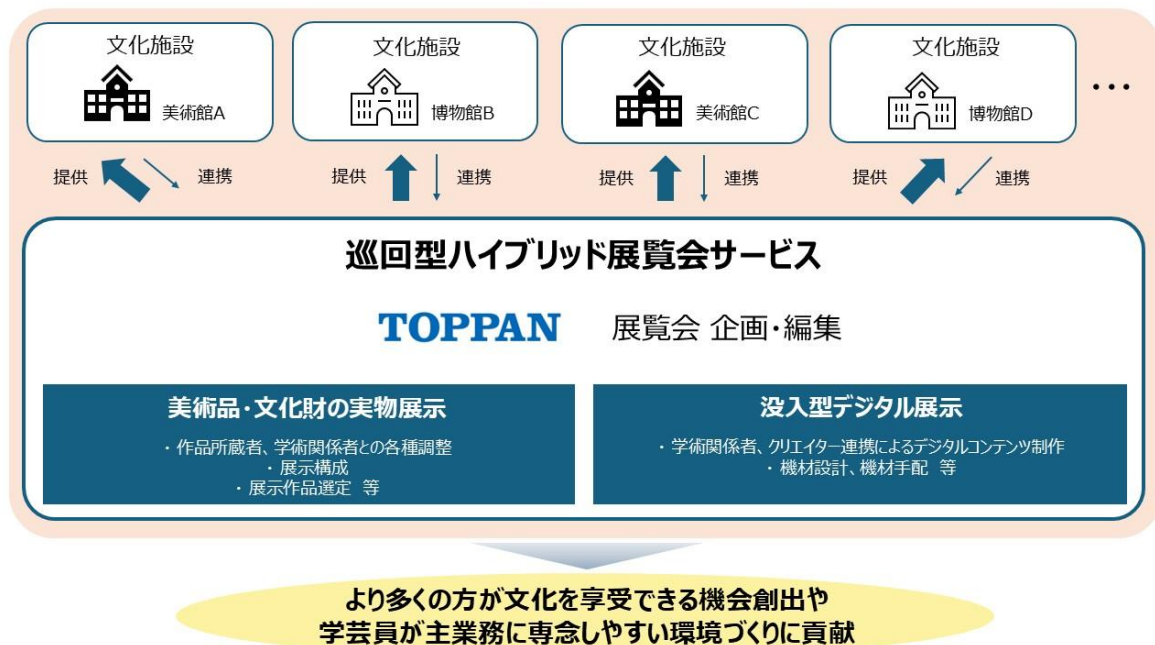
2026 年 7 月 22 日
TOPPAN 株式会社**TOPPAN、巡回型ハイブリッド展覧会サービスを提供開始**

「デジタル体験」と「美術品の実物展示」を組み合わせた展覧会の提供で、文化施設を支援
第一弾「新！浮世絵展 幕末明治の天才絵師たち」が 2026 年 7 月より全国巡回を開始

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:野口 晴彦、以下 TOPPAN)は、美術館や博物館などの文化施設に向けて、作品の魅力を直感的に伝えるデジタルコンテンツと美術品・文化財の実物展示を組み合わせた巡回型ハイブリッド展覧会サービス(以下 本サービス)を提供開始します。

本サービスは、TOPPAN が培ってきた高精細デジタルアーカイブや VR 制作技術、展覧会主催における企画・運用のノウハウを統合し、デジタル体験と実物展示を組み合わせた展覧会を、パッケージ化して各文化施設へ提供するものです。これにより、コンテンツ制作や機材調達、企画設計などに伴う文化施設の学芸員にかかる負担を軽減しながら、全国の文化施設と相互協力を行い、高品質な体験を生み出す展覧会を提供していきます。

なお、本サービスの第一弾として、「浮世絵」をテーマに幕末明治を代表する絵師の作品が一堂に会する「新！浮世絵展 幕末明治の天才絵師たち」を提供します。2026 年 7 月より、既に採用が決定している 4 施設を皮切りに全国への巡回を開始します。

**■ 背景**

近年、美術館・博物館などの文化施設では、来館者の多様化に伴い、年齢/言語/専門知識の有無を問わず、作品の魅力や歴史的背景を理解できる展示手法が求められています。特に近年は、映像や音響、空間演出を活用したイマーシブ体験(※1)が注目され、文化財や美術作品への新たな入口として期待されています。しかし、没入型展示の導入には、高精細映像の制作技術など、従来の展覧会とは異なる専門知識と制作・運用体制が必要であることに加え、制作費や設備費が高額になりやすく、準備期間も長期化するため、全ての文化施設が容易に導入することは困難でした。

TOPPAN はこれまで、国宝や世界遺産など国内外の文化財の高精細デジタルアーカイブや 60 本以上の VR 作品の制作を始め、TOPPAN ホールディングスが運営する印刷博物館や、特別展「正倉院 THE SHOW」(※2)の主催企画などを通じて、文化資源のデジタル化、展示演出、美術品・文化財の実物展示との融合に関する知見を蓄積してきました。

本サービスは、こうした TOPPAN グループの技術/企画/運用ノウハウを統合し、文化施設への導入負荷にも配慮した展覧会サービスとして提供します。これにより、各文化施設と連携しながら高品質な没入型展覧会を全国で展開するとともに、来場者が各文化施設の美術作品や文化財に触れる機会創出にもつなげていきます。

■ 本サービスの特長

・ 巡回型による、文化施設への支援と持続可能な展示モデルの実現

複数館での巡回を前提に、TOPPAN がデジタルコンテンツ制作から機材手配、作品手配やグッズ企画まで一括して担います。これにより、各文化施設が一から制作・調達・設計するリソースを抑え、学芸員がそれぞれの専門性を活かした主業務に専念できる環境づくりを支援します。単発の開催にとどまらず、優れたコンテンツと資産を全国で巡回させることで、高品質な文化体験を安定的かつ継続的に提供し続ける、持続可能な新しい展覧会モデルを確立します。

・ 没入型映像体験と美術品・文化財の実物作品によるハイブリッド展示

TOPPAN が培ってきた高精細デジタルアーカイブや映像編集技術を活用し、作品の細部、制作背景、時代性、物語性を大画面映像や空間演出によって鮮やかに映し出します。単に映像で作品を見せるのではなく、実物作品への関心を高め、鑑賞の理解を深めるための導入・補助体験としてデジタル表現を活用する点が特長です。これにより、専門知識の有無や年齢、言語の違いにかかわらず、来館者が直感的に作品の魅力を感じることができます。



「新！浮世絵展」出品作品を題材としたイマーシブ映像の展示イメージ



「新！浮世絵展」出品作品：河鍋暁斎《名鏡倭魂 新板》明治7(1874)年、浅井コレクション

・ 専門家との協働制作による学術的信頼性

TOPPAN が全体の企画・編集を担いつつ、これまでの多様なプロジェクト展開の中で築いてきた学術・文化財分野の専門家や現代のクリエイターとの協働を通じて、正確性と表現性を両立した展示づくりを行います。デジタル技術による演出を加えながらも、作品や文化資源の背景を伝えることを重視し、学術的な信頼性に基づいたコンテンツ制作を進めます。これにより、来館者にとって分かりやすく魅力的でありながら、各文化施設の展示方針や学術的基準にも応える、信頼性の高い展覧会を提供します。

■ 今後の目標

TOPPAN は本サービスの提供を進め、展覧会関連事業を含めて 2028 年までに 10 億円の売り上げを目指します。今後も、全国の自治体、民間企業などの多様なパートナーとともに、地方における文化観光の推進や次世代への文化継承など、地域社会の創生に繋がる価値を共創していきます。

■ 「新！浮世絵展 幕末明治の天才絵師たち」の巡回について

本サービスの第一弾展覧会「新！浮世絵展 幕末明治の天才絵師たち」は、既に採用が決定している以下 4 施設を皮切りに、全国への巡回を開始します。本展覧会は 120 年以上の歴史を有する国内有数の浮世絵個人コレクション「浅井コレクション」の全面協力を得て実現します。



・ 巡回会場詳細

会場	会期
愛媛県美術館	2026 年 7 月 25 日(土)～9 月 13 日(日)
兵庫県立美術館	2027 年 3 月 20 日(土)～5 月 23 日(日)
東北歴史博物館	2027 年 7 月 9 日(金)～9 月 12 日(日)
北九州市立美術館	2027 年 9 月 25 日(土)～11 月 7 日(日)

・学術監修: 樋口一貴(十文字学園女子大学 教授／国際浮世絵学会 常任理事)

・2026 年 7 月 22 日時点での情報となります。最新の情報は公式 HP を確認ください。

「新！浮世絵展 幕末明治の天才絵師たち」公式巡回展 HP: <https://www.toppan-vr.jp/shin-ukiyo-e/>

※1 イマーシブ体験: 「没入感(Immersive)」のある体験という意味で、映像・音響・空間演出などを駆使して、参加者がまるで物語や仮想世界の一部に入り込んだような感覚を味わう体験のこと。

※2 「正倉院 THE SHOW」: TOPPAN が主催参画し、企画・コンテンツ制作・展示を手掛けた展覧会。

展覧会名: 特別展「正倉院 THE SHOWー感じる。いま、ここにある奇跡ー」

東京展: 2025 年 9 月 20 日～11 月 9 日 上野の森美術館

大阪展: 2025 年 6 月 14 日～8 月 24 日 大阪歴史博物館

URL: <https://shosoin-the-show.jp/>

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上